


南あわじ市  
子ども・子育て支援事業計画作成にかかる  
「量の見込み」の補正について(案)



## 量の見込みの補正について

### ①幼稚園及び認定こども園（保育の必要がない児童）の現状と量の見込みの推移

 スタンプは、補正等により確定した市の「量の見込み」を示す。（H26.8.4 現在）

#### 国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成 27 年度で 130 人、平成 31 年度で 124 人となっています。

○本市では幼稚園の児童数は 3 - 5 歳人口の約 10%（平成 24~26 年度の平均）ですが、量の見込みは 1 割を超えているため、補正する必要があります。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

		現状					量の見込み(人)					
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		143	135	129	113	114	123	130	127	126	123	124
利用状況及び 量の見込み	1号認定							45	44	44	43	43
	2号認定 (教育)	143	135	129	113	114	123	85	83	82	80	81

※「現状」は市内施設の公立・私立の園児数（各年 5 月 1 日現在）。

【幼稚園の利用状況】

	現状					量の見込み(人)					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
A. 利用状況及び量の見込み	143	135	129	113	114	123	130	127	126	123	124
B. 3 - 5 歳人口	1,262	1,225	1,206	1,177	1,149	1,141	1,167	1,142	1,129	1,098	1,114
A/B(%)	11.3	11.0	10.7	9.6	9.9	10.9	11.1	11.1	11.2	11.2	11.1

## 補正後の量の見込み

○1号認定は、幼稚園の利用実績（3 - 5歳人口に対する児童数の割合（平成26年度、10.9%））を推計人口（末尾に参考資料として掲載、以下同様）に乗じて算出します。

○利用実績から算出した1号認定の量の見込みには、2号認定（教育）に相当する人数が含まれると考えられるため除外します。

○2号認定（教育）は、2号認定（教育）に相当する人数が不明であるため、国の標準的な算出方法の結果を量の見込みとします。

【補正後の量の見込み】

		現状					量の見込み(人)					
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		126	116	112	96	97	123	126	123	122	118	120
利用状況及び 量の見込み	1号認定	126	116	112	96	97	123	41	40	40	38	39
	2号認定 (教育)							85	83	82	80	81

※量の見込み = 推計人口 × (幼稚園児童数 / 3 - 5歳人口)

## ②認定こども園（保育の必要な児童）及び保育所の現状と量の見込みの推移

### 国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成 27 年度で 1,537 人、平成 31 年度で 1,468 人となっており、平成 26 年実績と比較すると、160～230 人程度多くなっています。特に 3 号認定（0 歳）で 10 倍以上かい離しており、量の見込みを補正する必要があります。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

		現状						量の見込み(人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		1,326	1,322	1,325	1,314	1,327	1,301	1,537	1,530	1,507	1,470	1,468
利用状況 及び量の 見込み	2号認定(保育) (3-5歳)	1,073	1,058	1,067	1,066	1,039	1,013	885	866	856	832	845
	3号認定(0歳)	7	7	14	12	14	11	145	142	138	136	133
	3号認定(1-2歳)	246	257	244	236	274	277	507	522	513	502	490

※「現状」は受託児童を含んだ市内入所児童数（各年 5 月 1 日現在）

## 補正後の量の見込み

○2号認定（保育）は、保育所の利用実績（各年齢区分の人口に対する保育所を利用している児童の割合、平成26年度）を推計人口に乗じて量の見込みとします。

○3号認定も同様に利用実績から量の見込みを算出します。

【補正後の量の見込み】

		現状						量の見込み(人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		1,326	1,322	1,325	1,314	1,327	1,301	1,315	1,301	1,284	1,251	1,259
利用状況 及び量の 見込み	2号認定(保育) (3-5歳)	1,073	1,058	1,067	1,066	1,039	1,013	1,036	1,014	1,002	975	989
	3号認定(0歳)	7	7	14	12	14	11	11	11	10	10	10
	3号認定(1-2歳)	246	257	244	236	274	277	268	277	272	266	260

※量の見込み = 推計人口 × 保育所児童数 / 0-5歳人口

※各年齢区分の人口に占める保育所を利用している割合は以下の通り。

2号認定 : 88.8% (3-5歳)、3号認定(0歳) : 3.1%、3号認定(1-2歳) : 37.4%

### ③時間外保育事業（0～5歳）

#### 国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成27年度で1,146人、平成31年度で1,092人となっており、平成25年度実績と比較すると、440～500人程度多く、補正する必要があります。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

		現状						量の見込み(人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		849	805	634	569	649	-	1,146	1,141	1,123	1,096	1,092
利用状況及び 量の見込み	公立	369	445	334	277	366	-	1,146	1,141	1,123	1,096	1,092
	私立	480	360	300	292	283	-					

#### 補正後の量の見込み

○補正後の量の見込みは、平成25年度実績から、保育所を利用している児童数の内、本事業の利用数の割合（平成21年度から25年度の平均：53.0%）を算出し、2号認定（保育）、3号認定（p.4で算出）の児童数に乗じて算出します。

【補正後の量の見込み】

		現状						量の見込み(人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		849	805	634	569	649	-	697	690	680	663	667
利用状況 及び量の 見込み	2号認定(保育) (3-5歳)	849	805	634	569	649	-	549	537	531	517	524
	3号認定(0歳)						-	6	6	5	5	5
	3号認定(1-2歳)						-	142	147	144	141	138

※量の見込み = 2号認定（もしくは3号認定） × 延長保育事業の利用率

#### ④放課後児童クラブ（小学1年生から小学6年生）

#### 国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成27年度で607人（低学年：417人、高学年：190人）、平成31年度で580人（低学年：406人、高学年：174人）となっています。平成26年実績（5月現在）で低学年を比較すると、150人程度多くっており、補正する必要があります。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

		現状						量の見込み(人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		189	233	263	268	230	259	607	595	589	593	580
利用状況 及び量の見込み	開設数(か所)	8	9	10	10	10	10	11	13	15	15	15
	登録児童数 (小学1～3年生)	189	233	263	268	230	259	417	409	403	415	406
	登録児童数 (小学4～6年生)	-	-	-	-	-	-	190	187	186	178	174

## 補正後の量の見込み

○国の放課後児童健全育成事業に関する調査結果の利用意向率（一般市区町村）を推計人口に乗じて量の見込みを算出します。

○小学校高学年（4～6年生）は、さらに本市の小学生調査結果を用いて補正します。

○本市では、小学生調査は放課後児童クラブの利用対象者全て（低学年）に調査を実施しています。現在、放課後児童クラブを利用している人（低学年）で、高学年になっても利用を希望している割合に乗じて量の見込みとします。

【補正後の量の見込み】

		現状					量の見込み(人)					
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		189	233	263	268	230	259	356	349	346	351	344
利用状況 及び量の 見込み	開設数(か所)	8	9	10	10	10	10	11	13	15	15	15
	登録児童数 (小学1～3年生)	189	233	263	268	230	259	305	299	297	303	297
	登録児童数 (小学4～6年生)	-	-	-	-	-	-	51	50	49	48	47

※量の見込み（小学校低学年）＝ 推計人口 × 利用意向率（国の調査結果：25.9%）

※量の見込み（小学校高学年）＝ 推計人口 × 利用意向率（国の調査結果：12.1%） × 現在、放課後児童クラブを利用している人（低学年）で、高学年になっても利用を希望している割合（33.5%）



## ⑤子育て短期支援事業(ショートステイ)(0~5歳)

### 国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成27年度で26人、平成31年度で25人となっています。現状では、平成21年度から25年度において利用者は1人(7日利用)となっており、量の見込みが多くなっています。

○量の見込みは現状と比較して多くなっていますが、一定のニーズがあると考え、算出結果を量の見込みとします。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

		現状						量の見込み(人日)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		0	0	0	7	0	-	26	26	25	25	25
利用状況及び量の見込み	利用者数(人)	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	-
	利用日数(日)	0	0	0	7	0	-	-	-	-	-	-
	施設数(か所)	2	2	2	2	2	-	2	2	2	2	2

## ⑥地域子育て支援拠点事業（0～2歳）

### 国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成 27 年度で 1,107 人日、平成 31 年度で 1,053 人日となっており、平成 25 年度実績と比較すると約 1.3 倍程度多く、補正する必要があります。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

		現状						量の見込み(人日/月)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計(月)		682	766	798	870	749	-	1,107	1,123	1,099	1,077	1,053
利用状況及び量の見込み	月(人日)	682	766	798	870	749	-	1,107	1,123	1,099	1,077	1,053
	年間(人日)	8,187	9,189	9,580	10,445	8,987	-	-	-	-	-	-
	登録者数 (人、0-2歳)	-	-	-	331	301	-	-	-	-	-	-

※「現状」は子育て学習・支援センター登録者の延参加者数（子育て学習・支援センター事業・イベント参加数、プレイルーム利用数、出前ひろば参加数）。

※本事業は 0-4 歳児が対象。0-2 歳児は子育て学習・支援センターの登録率から推計。

補正後の量の見込み

○実績から各年齢の登録率、利用日数を算出し、推計人口に乗じて量の見込みとします。

○登録率、利用日数は平成 24 年度、25 年度の平均を用います。

【補正後の量の見込み】

		現状						量の見込み(人日/月)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計(人日/月)		682	766	798	870	749	-	796	815	799	782	765
利用状況及び量の見込み	延べ利用人数(合計)	-	-	-	-	-	-	796	815	799	782	765
	延べ利用人数(0歳)	-	-	-	-	-	-	93	92	89	87	86
	延べ利用人数(1歳)	-	-	-	-	-	-	375	368	362	352	346
	延べ利用人数(2歳)	-	-	-	-	-	-	328	355	348	343	333
	登録者数(合計)(0-2歳)	-	-	-	331	301	-	311	318	312	306	299
	登録者数(0歳) (登録率)	-	-	-	36 (10.6%)	34 (10.1%)	-	36	36	35	34	33
	登録者数(1歳) (登録率)	-	-	-	142 (37.3%)	141 (41.5%)	-	147	144	141	138	135
	登録者数(2歳) (登録率)	-	-	-	153 (40.9%)	126 (33.1%)	-	128	139	136	134	130

※量の見込み = 推計人口 × 登録率 × 1人あたり利用日数(年間) ÷ 12か月

- 各年齢の登録率は平成 24 年度、25 年度の平均値(0歳: 10.4%、1歳: 39.4%、2歳: 37.0%)。

- 1人あたり利用日数は登録者(0-2歳)、延べ利用者数(0-2歳)から算出(平成 24 年度、25 年度実績の平均値、30.7日/年)。

⑦一時預かり事業

■「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」(3～5歳)

**国の手引きに従った量の見込み**

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成27年度で23,310人日、平成31年度で22,251人日となっており、平成26年度実績より3,000人日～4,000人日程度、少なく、補正する必要があります。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

		現状						量の見込み(人日)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		30,960	28,800	27,840	23,760	24,000	26,400	23,310	22,810	22,551	21,931	22,251
利用状況及び 量の見込み	延べ利用数 (1号認定)	30,960	28,800	27,840	23,760	24,000	26,400	67	66	65	63	64
	延べ利用数 (2号認定)							23,242	22,745	22,486	21,868	22,187
	公立(園児数、人)	126	116	112	96	97	107	-	-	-	-	-
	私立(園児数、人)	3	4	4	3	3	3	-	-	-	-	-

※「現状」は、幼稚園における常時利用園児数。

補正後の量の見込み

○本市では、一時預かり事業は、幼稚園児の大部分が平日、定期的に利用されています。

○このため全ての幼稚園児が年間（240日）を通じて利用すると考えられるため、1号認定、および2号認定（教育）に年間利用日数を乗じて量の見込みとします。

【補正後の量の見込み】

		現状					量の見込み(人日)					
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		30,960	28,800	27,840	23,760	24,000	26,400	30,240	29,520	29,280	28,320	28,800
利用状況及び 量の見込み	延べ利用数 (1号認定)	30,960	28,800	27,840	23,760	24,000	26,400	9,840	9,600	9,600	9,120	9,360
	延べ利用数 (2号認定)							20,400	19,920	19,680	19,200	19,440

※量の見込み = 1号認定（もしくは2号認定（教育）） × 年間利用日数（240日）

■「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」以外(0～5歳)

国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成27年度で7,345人日、平成31年度で7,000人日となっており、平成25年度実績より4倍以上多く、補正する必要があります。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

	現状						量の見込み(人日)					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
合計	1,747	1,805	1,475	2,222	1,587	-	7,345	7,317	7,198	7,025	7,000	
利用状況及び 量の見込み	(園児数、延べ利 用者数)	1,747	1,805	1,475	2,222	1,587	-	7,345	7,317	7,198	7,025	7,000

補正後の量の見込み

○補正後の量の見込みは、国の標準的な算出基準による結果から、保育所を利用希望している人の内、保護者の用事の際、親族等にみてもらったと回答した割合(78.5%)を控除して算出します。

【補正後の量の見込み】

	現状						量の見込み(人日)					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
合計	1,747	1,805	1,475	2,222	1,587	-	1,582	1,576	1,550	1,513	1,508	
利用状況及び 量の見込み	(園児数、延べ利 用者数)	1,747	1,805	1,475	2,222	1,587	-	1,582	1,576	1,550	1,513	1,508

※量の見込み = 国の標準的な算定基準による量の見込み × (1 - 保護者の用事の際、親族等にみてもらったと回答割合 ÷ 保育所を利用希望している人)

### ⑧病児・病後児保育事業【病児・病後児保育】(0~5歳)

#### 国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成27年度で2,499人、平成31年度で2,382人となっています。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

	現状						量の見込み(人日)				
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計	無	無	無	無	無	無	2,499	2,489	2,449	2,390	2,382
利用状況及び量の見込み	無	無	無	無	無	無	2,499	2,489	2,449	2,390	2,382

#### 補正後の量の見込み

○子どもが病気等の時に親族・知人にみてもらえると回答した割合を控除(43.8%)して、量の見込みを算出します。

【補正後の量の見込み】

	現状						量の見込み(人日)				
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計	無	無	無	無	無	無	1,404	1,399	1,376	1,343	1,339
利用状況及び量の見込み	無	無	無	無	無	無	1,404	1,399	1,376	1,343	1,339

## ⑨ファミリー・サポート・センター事業【子育て援助活動支援事業】（小学1年生から小学6年生）

### 国の手引きに従った量の見込み

○国の算定手順に基づき推計した結果は、平成27年度で336人、平成31年度で328人となっています。

○本市では、本事業は就学前児童を対象に実施しているため、就学児の実績はありません。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

		現状					量の見込み(人日)					
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	336	330	327	335	328
利用状況及び 量の見込み	小学校低学年	-	-	-	-	-	-	336	330	327	335	328
	小学校高学年	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0

※【参考】就学前児童の実績：平成21年度・180人、平成22年度・87人、平成23年度・182人、平成24年度・185人、平成25年度・97人

### 補正後の量の見込み

○量の見込みの補正は、両親の共働き家庭の年間利用希望日数が多いため、年間利用希望日数を補正して算出します。

○アンケート調査ではファミリー・サポート・センター（くらぶ）の利用希望日数は、約5割の回答者が2～3日を希望しているため、全体の平均希望日数(3.6日)を用いて量の見込みを算出します。

【補正後の量の見込み】

		現状					量の見込み(人日)					
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	173	170	169	173	169
利用状況及び 量の見込み	小学校低学年	-	-	-	-	-	-	173	170	169	173	169
	小学校高学年	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0



## ⑩利用者支援事業【新規】

### 国の手引きに従った量の見込み

○新たな利用者支援事業は、「子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ、相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業」になります。これまでの地域子育て支援拠点事業の「地域機能強化型」の内容を拡充し、利用者支援事業に発展的に移行することとされています。

○実施場所として、「日常的に利用でき、かつ相談機能を有する施設」や「市町村窓口など」となっています。

○アンケート調査において、「母親学級および保健センターの情報・相談サービス」の利用意向を尋ねたところ、40.3%を超えており、一定のニーズがあると考えられます。

○市が主体となって実施していくことを想定し、各年度1か所を見込みます。

【国の標準的な算定基準による量の見込み】

	現状						量の見込み(か所)				
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計	-	-	-	-	-	-	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
利用状況及び量の見込み	-	-	-	-	-	-	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

## ⑪妊婦健診事業

### 国の手引きに従った量の見込み

○妊婦に対する健康診査は、母子保健事業として実施しており、今回の制度改正により、子ども・子育て支援事業計画において量を見込むこととなります。

○母子ともに健康で安心して出産するためにも、妊婦すべてが受診すること（受診率 100%）をめざし、人口推計の結果の前年度に健診を受けると想定し、次年度の0歳人口を量の見込みとします。

【市の独自の考えによる量の見込み】

		現状						量の見込み(人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		279	388	390	360	365		346	336	330	323	314
利用状況及び 量の見込み	健診受診人数	279	388	390	360	365	-	346	336	330	323	314

## ⑫乳児家庭全戸訪問事業

### 市独自の量の見込み

○乳児家庭全戸訪問事業は、今回の制度改正により、子ども・子育て支援事業計画において量を見込むこととなります。

○全戸訪問事業であり、訪問数は100%であることから、0歳人口を量の見込みとします。

【市の独自の考えによる量の見込み】

		現状						量の見込み(人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		375	369	383	338	343	-	352	346	336	330	323
利用状況及び 量の見込み	訪問件数	350	350	356	326	326	-	352	346	336	330	323
	訪問率(%)	93.3	94.9	93.0	96.4	95.0	-	-	-	-	-	-

## ⑬養育支援訪問事業

### 市独自の量の見込み

○養育支援訪問事業は、今回の制度改正により、子ども・子育て支援事業計画において量を見込むこととなります。

○本市では、乳児家庭全戸訪問事業において、養育支援が必要な家庭を再度訪問することで養育支援訪問を実施しています。

○量の見込みは、乳幼児全戸訪問事業において、支援が必要な家庭に再度訪問した件数のうち、養育支援が必要な家庭を対象とした訪問件数とします。

○平成22年度から25年度の訪問件数の平均値を量の見込みとします。

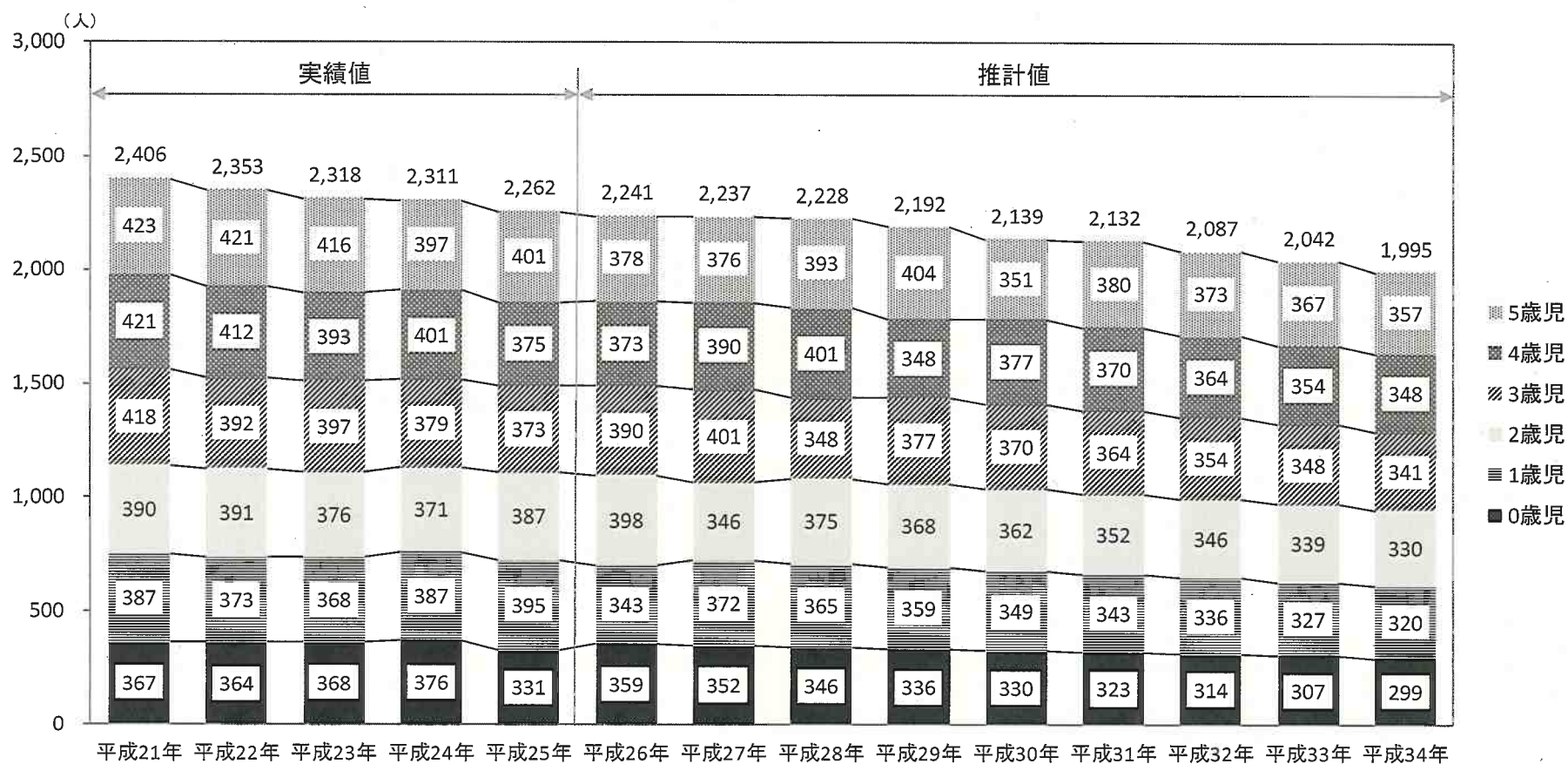
		現状						量の見込み(人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
合計		-	9	6	5	7	-	7	7	7	7	7
利用状況及び 量の見込み	訪問件数	-	9	6	5	7	-	7	7	7	7	7

## 【参考資料】人口推計

住民基本台帳（外国人登録含む）をもとに、コーホート変化率法を用いて算出した平成26年から平成34年までの推計人口は下記の通りです。

### （1）就学前児童の推計人口

0歳から5歳までの就学前児童の推計人口をみると、平成26年には2,241人となっていますが、平成30年では2,139人、平成34年には1,995人と減少しています。



## (2) 小学校児童の推計人口

6歳から11歳までの小学校児童の推計人口をみると、平成26年には2,517人となっていますが、平成34年には2,263人と、各年で減少しています。

